

校長室の窓から

【NO.14】

感動と充実の2学期終了！ ～たくさんのご理解ご協力 ありがとうございました～



【みんなで創り上げるおたのしみ会】

「今週も充実しているねえ!!」

朝の打ち合わせ会で週予定を確認するたびに、こんな言葉がきかれた2学期でした。

学校行事・学年行事を始め、児童会企画やそれぞれの学級での学びのまとめ等、本当にたくさんの学習の場がありました。

子どもたちのその学びを通しての確かな育ちと輝く笑顔を見せてもらうことが、私たちのエネルギーの源でした。

子どもたちの頑張る姿に感動の涙を流す場もたくさんあり、おうちの皆様のご理解ご協力のお陰だと感謝の気持ちでいっぱいです。

保護者懇談会や学校評価アンケートもありがとうございました。

いただいたご意見等、全職員で大切に受け止めさせていただき、共有すべきことを確認させていただきました。今後の子どもたちの育ちに生きるよう全職員で頑張ります。今後ともよろしく願いいたします。

「まずは自分から」

「埴生っ子ならそうすることは当たり前」

【二学期終業式での校長の話】

みなさん、おはようございます。 今日で2学期が終わります。
音楽会やマラソン大会等の行事を始め皆さんが今頑張ることに一生懸命取り組んでいる姿にたくさんの感動をもらった2学期でした。
よく頑張りましたね。 ありがとうございました。

今、1年生と6年生の代表の人が2学期を振り返っての想いを発表してくれましたが、たてた目標に対して自分はどうだったのか振り返ってみることは、とても大切なことです。

2学期の全校の目標の一つは「笑顔あふれる明るい挨拶」でした。

2学期の皆さんの挨拶の様子を振り返ってみると、「おはようございます」「さようなら」の他にも、昼間に廊下で会ったら「こんにちは」と言ってくれる人まで出てきて、4月のころに比べたら、挨拶ができる人が増えてきたなあという感じがして嬉しいです。

特に、こちらから挨拶して笑顔で返してもらうのはもちろんですが、こちらより先に自分からしてもらおうと、すごく嬉しい気持ちになりました。

「まずは自分から」ということが、とても大事だということを2学期のみんなの挨拶から学びました。

もう一つの目標は「ただひたすらに完全無言清掃」でした。

清掃美化委員会で「完全無言清掃週間」や「開始時刻ばっちり週間」を企画してくれたときは、本当に全校が時間通りに開始し、ただひたすらに完全無言清掃ができていました。

埴生小のみんなは、やろうと思えばできる凄い力があるんだなあと思い、嬉しかったです。

ただ、そういう週間じゃなくても、やればできる力をもっているんだから、みんなで心を一つにして頑張りたいなあと思いました。

埴生っ子なら、どんなときでも、挨拶なら、まずは自分から笑顔で明るく、お掃除なら、ただひたすらに完全無言でと、「そうすることが当たり前」のようになれば、本物だと思います。みんなの力に期待しています。



【ただひたすらに】

さて、明日からは楽しみにしていた冬休みです。お正月を迎える楽しいお休みですが、勉強もお手伝いもたくさんあることでしょう。埴生小の一員として勉強するのは当たり前、家族の一員としてお手伝いするのは当たり前。それも、言われてやるのではなく、まずは自分から進んで。

そうすると、きっと本物の楽しい冬休みになることでしょう。

風邪やインフルエンザ、事故や怪我でせっかくの休みをダメにしちゃわないように気をつけて、いいお休みにしてきてくださいね。

また3学期始業式の日笑顔で会いましょう。

ご家族で、どうぞよいお年をお迎えくださいね。

素敵な冬休みを!!

【文責：田中寿一】